

わかば

NALC豊中・池田拠点「わかばの会」会報

改定 第38号 (通巻 第195号)

発行 平成25年11月

事務局 豊中市上野西3-13-55 ラピスマンション605

Tel&Fax 06-6852-4802

e-mail nalctim2007@yahoo.co.jp

URL <http://sky.groceries.jp/nalctim2007/>

わかばの会のバスツアーに参加して

10月29日、当日は薄曇りの秋の行楽日和だった。蛍池からの先発組と千里中央で合流して総勢40名ばかりを乗せた観光バスは佐川美術館へと走った。

佐川美術館は建築の雄である竹中工務店の設計施工であるが故に、シンプルであり乍らそれでいて優雅で落ち着いた佇まいに圧倒された。大変多くの展示品は元東京芸大学長平山郁夫先生や、少しは陶芸に興味をもった筆者にとって楽吉左衛門先生の作品は圧巻であり、吸い込まれる様な快い雰囲気を感じ出し、少々疲れを覚える位であった。

その疲れを癒すが如くの水釜焼陶器の里の郷土料理は、日頃はお弁当やスーパーのお惣菜で暮らしている筆者にとってはとても美味しかった。腹ごしらえが出来上がって、近江八幡城下町へと車は向かった。地元のボランティアの方の案内にて散策した。何年か前に来遊した事もあり、また学生時代を彦根で遊学した事もあって、近江兄弟社やヴォーリス建築設計事務所は懐かしかった。

続いて琵琶湖博物館へと足を向けた。その昔、開館間もなく訪れたがほとんど記憶もなく新しい気持ちで鑑賞させて頂いた。我が国や琵琶湖の生い立ち、それに伴う化石や種々の展示物は日常の生活よりかけ離れた世界へと導いてくれて、時間が過ぎるのも忘れてしまって心が洗われた気持ちになった。世間より半歩退いた我々老人にとっては何か別世界を訪れた感じにて考古が逆に新鮮味を覚えた。

帰途の車中は変わったジャンケンゲームにて笑いの渦巻きになってしまった。一般的な帰途バス旅行は旅行疲れの居眠りがワンパターンであるが、それはもうワイワイ・ギャーギャーと時の経つのも忘れた程の楽しい一刻であった。途中一時しぐれもあったが、それはバスの走行中にて会員皆様が善根を重ねて居られる所為もあって、下車時には何事も無かった様に雨も止み、本当に長い楽しい一日を過ごさせて頂いた。

最後に私共老夫婦を終始配慮しながら労わって頂いた大勢の会員の皆様と、更には企画立案検討の上、当日はおもてなしの心にてお世話を頂いた役員の皆様に厚くお礼申し上げます。 (松本義男)



事務局からのお知らせ



◎ 運営委員会スケジュール

25年度第8回 11月9日(土) 10:00~12:30 (事務所)

25年度第9回 12月14日(土) 10:00~12:30 (事務所)

◎ 運営委員会議事録承認事項 (平成25年10月12日 出席者12名)

1. バスツアー最終計画 (吉田)
 - ・日程、費用、旅行行程、イベント会計からの補助を承認。
2. 9月分会計報告 (三村)
 - ・9月単月で1,526円の黒字。未収入金管理は問題なし。
3. 事務所賃貸について (大井)
 - ・日中様は12月末までで賃貸を終了。
 - ・わかばの会の支払いは家賃(30,000円/月)はそのまま。
共益費(6,000円/月)、水道・光熱費はわかばの会が単独で全額を支払う事を承認。
4. 仙台総会参加への交通費補助 (宮地)
 - ・他拠点の状況を参考にして、参加者の交通費の半額をわかばの会から補助する。
 - ・JALパックツアーでは大阪発仙台2泊3日コースで36,000円なので、一人あたり18,000円を補助する。現時点では3名参加予定。
基本的には今年度50%、来年度50%で会計処理を行う事を検討する。
5. 本部リーダー研修 (大井)
 - ・今年のリーダー研修へのわかばの会からの参加は見送る。

◎ 会員活動

活動内訳		10月の活動(時間)	25年度累計(時間)
預託活動	総活動時間	116	1,104
	点数利用	1	26
	純増	115	1,078
奉仕活動		162	1,590

◎ 会員数 (2013/11/1現在)

	豊中	池田	その他	計
世帯数	112	26	15	153
会員数	170	40	22	232

寄付金の御礼

会員の永田善宗さまが真夏の暑い時期にご逝去されました。その時、お通夜・告別式に参加しお手伝いをさせて頂きましたが、この度、奥様より丁寧なお手紙とわかばの会への寄付金として30,000円を頂戴致しました。謹んで会員の皆様にお知らせし、厚く御礼申し上げます。

(大井文夫)

新年会は1月23日(木)に決定

恒例の新年会を来年1月23日(木)に箕面木曽路にて行います。
来月の会報にて詳しいお知らせを致します。皆様よろしくお願いたします。

お誘い 紅葉の三色街道を散策と薬膳料理を一緒に

今回の友遊会は紅葉の三色街道を散策し、健康の森で薬膳料理を召し上がって頂こうと企画しました。三色街道は阪急北千里駅の近くの紅葉の美しい場所で、シーズンになると沢山の方が来られ撮影されておられます。また健康の森には病院、自然食品店、花屋さんなどがあり、当日は漢方を使った薬膳料理を召し上げて戴きます。沢山の方の参加をお待ちしています。

日時：11月29日(金) 集合時間：9時50分(10時05分阪急バス乗車(時間厳守))
 集合場所：千里中央阪急バス案内所前 会費：薬膳料理代金(1200円、コーヒー付)
 持ち物：水筒 申し込み：事務所(11/22(金)締切) 備考：雨天決行
 問い合わせ：鈴木陽子(090-9625-1038)、木下妙子(090-1139-1086)

☆12月の月曜サロンは編み物(マフラー)です☆

日時：12月2日(月)13:00~16:00
 場所：わかばの会事務所 会費：200円
 材料費：1,000円(シルク糸代) 自宅に糸(中細)をお持ちの方はご持参下さい。
 持ち物：かぎ針4号~5号 (大前裕子)

☆バザー用品提供のお願い☆

皆様もご存知のように共同で部屋を使っている日中友好協会様が今年一杯で出られ、家賃はそのままですが、光熱費や共益費などの負担が増える事となりました。それでバザーを開き少しでも資金を作りたいと思います。

家庭に眠っている不用品がありましたら提供をお願いいたします。

事務所に箱を用意しますのでそちらに入れて下さい。

よろしくお願い致します。

(友遊会メンバー)

11月&12月の予定 (各場所については事務所にお尋ねください)

同好会、その他のイベント	11月	12月
麻雀	23(土) 10:00-16:00	8(日), 28(土) 10:00-16:00
カラオケ	6(水), 17(日) 14:00-16:00	4(水), 18(水) 14:00-16:00
月曜サロン	休み	2(月)
遊友会	29(金)	—
映画	21(木) 「くじけないで」	—
天満天神繁昌亭	—	—
太極拳	15(金), 22(金) 10:00-11:30	13(金), 20(金) 10:00-11:30
絵画	19(火) 13:30-16:00	17(火) 13:30-16:00
会報発送	8(金) 11:30~	13(金) 11:30~
豊中第1ブロック会	—	—
豊中第2ブロック会	—	—
池田ブロック会	18(月) 9:30-11:30	16(月) 9:30-11:30

繁昌亭鑑賞同好会に参加しました

今期2回目の繁昌亭鑑賞会が10月10日に催行され、17名(箕面拠点の2名も一緒)の参加で楽しみました。元気で意気盛んな若手落語、昔ながらの和傘を使った曲芸、女流漫才、ベテラン桂枝三郎さんの古典落語等10番の出し物で、3時間半たっぷり笑い癒しの時間を皆様と過ごしました。



会員のお二人が枝三郎さんのお弟子さんだったという事で懐かしそうに帰り出口で握手され旧交を温めておられ、改めて落語を身近に感じたものです。鑑賞後は近くにお住まいの岡田多栄子さんに純喫茶に案内してもらい、香り高いコーヒーなどを頂きながら歓談兼、次回相談等をして帰路に着き大満足な一日を過ごしました。(堀 順子)

中国での国際社会高齢福祉・介護事業発展協力フォーラムに参加

去る9月25日から26日まで中国江蘇省で開催された「2013年国際社会高齢福祉・介護事業発展協力フォーラム」に大阪府代表として、府日中友好協会・府社会福祉事業団・府社会福祉協議会の幹部と参加しました。海外からはドイツ、カナダ、ロシアなど7ヵ国と中国の各界の代表が参加して、福祉・介護サービス分野の発展と協力のあり方を討議し、関連する交流についても話し合いをしました。

研究課題は、(1)介護サービス基準と評価、(2)介護サービス産業発展の研究、(3)高齢者地域介護の実行と探索、(4)介護サービスの人材育成と現職教育、(5)介護事業における政府、社会、家庭、及び個人の責任研究と言う事で、各国の取り組みの発表がありました。日本からは大阪府・石川県・北海道の代表が参加し、代表して大阪府社会福祉事業団の山上常務理事が「大阪府における高齢者施策の現状と社会福祉事業団の人材育成について」、取組み内容の発表をして頂きました。



人口約14億人の中国においても65歳以上の人口が10%を超えています。日本の65歳以上の人口は1994年に14%を超え急速に高齢化が進み、2010年に高齢者人口は2,925万人になり、高齢化率が22.8%まで進んでいます。また大阪府においても、来年は4人に1人が65歳以上となり、さらに認知症を有する一人暮らしの高齢者の増加が予想されます。

今回参加した各国ともに急速な高齢化に伴って、医療・福祉・介護サービスの供給量の増加と、社会保障費の増大が予想されます。日本は今後の取り組みとして、「地域包括ケアシステムの構築」が求められています。住み慣れた自宅や地域で暮らし続けることを希望する高齢者が、介護度が重くなってもできる限り生活の場を変えずに自らが選択した場所で、必要な医療・介護などのサービスを受けながら生活することが求められています。

今回のフォーラムに参加して学んだこと、多くの方と出会い、出来た人のネットワークを今後のナルクの活動に活かして、会員一人ひとりが元気で長生き出来るように「健康寿命」に挑戦します。(清水正弘)